

第123回

経済史研究会

経済史研究会を下記の通り開催いたします。

大学院生を含め多くの研究者の参加をお待ちしています。

報告

高木 久史 大阪経済大学経済学部教授

テーマ

中世日本における決済の実態

概要

中世後期日本（14-16世紀）を対象に、商取引等での決済の実態を復元する。中世日本ではおもに中国から輸入した青銅銭が使われた。国内における模造銭の生産もあった。しかしこれらは貨幣需要の変動に対し弾力的に対応しえなかった。それに伴い、紙券の交換手段等としての使用や口約による金属貨幣の節約が行われた。本報告ではこれら実態を復元し、決済のありようの中世日本における歴史性について検討する。

日時

2026年4月18日（土）14：00～17：00

形式

対面（会場：大阪経済大学 G館3階 共同研究室 I）・
オンライン（Zoom）併用

申込

参加ご希望の方は下記フォームよりお知らせください

<https://forms.gle/1onBW1gqTz5sMPix6>



【懇親会】研究会終了後に予定しております。
会場・会費等詳細は当日お知らせいたします。

新経済史
宣言

大阪に座して
時空を超える

大阪経済大学 日本経済史研究所

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8

TEL：06-6328-2431 E-MAIL：nikkeisi@osaka-ue.ac.jp

<https://www.osaka-ue.ac.jp/research/nikkeisi/>